

NPO 京都コミュニティ放送 第 21 回通常総会

開催日時：2022 年 2 月 27 日(日)15:00-16:00

開催場所：オンライン開催 (zoom)

議 案：

第 1 号議案：事業報告、決算報告について

第 2 号議案：事業計画、予算案について

第 3 号議案：役員を選出について

同封資料

第 1 号議案：2021 年度事業報告 (P 2-4)、決算報告 (P 5)、決算書、会計監査報告書

第 2 号議案：2022 年度事業計画・予算案 (P 6-8)、予算書

第 3 号議案：2022 年度役員候補一覧

その他：定款、NPO 組織概要図

総会には、本議案および資料をご用意ください。

総会終了後にオンライン交流会を開催いたします。

2022 年 2 月 27 日(日)16:15-17:15

2 月 21 日までに info@radiocafe.jp まで参加の旨お知らせください。

zoom の URL をお送りいたします。

＜第1号議案＞2021年度事業報告

■NPO 組織活動

【1】会員数

2021年度末：120人（22年2月現在：116人。正会員一覧参照）

【2】理事会、委員会の開催と主な審議事項

●理事会

＜開催＞3月、9月、2022年1月……計3回

＜主な審議事項＞

- ・三役選出、委員選出等新体制
- ・一般社団法人非営利コミュニティ放送総会報告
- ・補助金事業報告
- ・第21回決算・予算、NPO通常総会議案

●三役会議

＜開催＞9月、10月、12月、2022年1月……計4回

＜主な審議事項＞

- ・機材更新
- ・次年度職員体制
- ・理事会議案

●番組編成委員会／委員長：松浦理事

＜開催＞6月……計1回

＜主な審議事項＞

- ・番組オーナー向け意見交換会「オンラインカフェ」の内容
（7月、9月、11月 計4回開催）

●会員委員会／委員長：井上理事

＜開催＞5月、7月、10月……計3回

＜主な審議事項＞

- ・正会員・番組オーナー向け勉強会の内容（3回開催）
- ・三角山放送局との意見交換会の内容（11月開催）

●財政委員会／委員長：土江田監事

＜開催＞7月、2022年1月 計2回開催

＜主な審議事項＞

- ・財政状況・未収入金の扱い
- ・NPO債償還
- ・助成金申請

●ビジョン検討小委員会

- ・5月……1回開催

【3】その他 主な地域活動／連携活動 他

- ・中京区防災会議への参加（コロナ禍のため文書による回覧）
- ・中京区災害ボランティアセンター運営委員会への参加（コロナ禍のため文書による回覧）

●新型コロナウイルス感染拡大防止の対応

昨年度に引き続き下記対応を継続中。

- ・来局者の消毒、検温、入退室記録記入、収録時の人数制限、マスク着用をお願い
※二酸化炭素測定器、自動検温機を2021年度に購入
- ・収録、各種会議のオンライン活用（電話、ZOOM）
- ・スタジオ消毒の備品購入（随時）
- ・感染防止を促すチラシ掲示

■放送事業

【1】番組／スポット等の放送

1) レギュラー番組：94本（内 局制作番組：6本） 2021年12月末時点

- ・CRAK 番組

「RADIO MIX KYOTO 京ごよみ」毎週30分、「舞鶴赤れんがラジオ」毎週30分、「拝啓おじいちゃんおばあちゃん」毎週6分、「ぶらり京介護ラジオちゃんねる」毎月2回21分、「龍大ラジオタックル」毎月1回30分、「まちづくりチョビット推進室」毎月2回30分

2) スポットCM等の放送

- ・赤十字キャンペーンCM※無料放送
- ・月刊誌Leaf※紙面広告とバーターで放送
※他、衆議院選挙投票呼びかけCM、環境省 coolchoice 事業パブリックCM、京都府観光連盟CM、男女共同参画課 番組出演呼びかけCM

3) 主な局制作番組の放送

- ・京都医療福祉ニュース（毎週月-金、日3-6回）、週刊京ことばニュース（毎週土4回）、京都防災インフォメーション（毎日2-4回）
- ・環境番組「環境市民のエコまちライフ」「京都発!温暖化防止」（各番組週1回15分）
- ・「祇園祭ウォーク2021」→coolchoice 事業補助金番組一環※補助金の欄参照
- ・24H ホットライン公共情報／スポット（24時間ランダム放送）
京都市児童相談所「子ども虐待SOS」、京都いのちの電話「いのちの電話」
京都府警察本部少年課少年サポートセンター「ヤングテレホン」
- ・音楽放送：ジャズを中心に放送（24時間プログラム）
- ・「京の音」日本語・英語バージョン（音源／環境音楽研究者・小松正史氏提供）

【2】防災・災害対応

- ・防災訓練、設備点検（偶数月）
- ・災害対応（京都市内発令避難情報放送など）→2021年度は該当放送なし

【3】放送設備の整備

- ・送信所点検（毎月）
- ・DAD MASTER2 更新、パソコン等関連機材更新
- ・オンライン収録用タブレット購入

【4】インターネット放送／配信

- ・「ListenRadio」「サイマル」からの配信（PC・スマートフォン向け）
- ・ポッドキャスト 41 番組、ポッドキャスト+動画 7 番組 の配信

【5】広報活動（ラジオ放送以外）

- ・番組表「ラジオカフェ通信」の発行（年4回 各 1500 部）
- ・web サイト、ソーシャルメディア（Twitter、Facebook、instagram）の運営

【6】助成金事業

●環境省 coolchoice 事業

「祇園祭ウォーク」（京都市、ごみゼロ大作戦協力）、「2050 京から『知っていますか？CO2 ゼロ条例』」京都市環境課協力、「2050 京から『知っていますか？親子で体験エコロジー』」（京エコロジセンター協力）、「暮らしのエコ川柳！」（京都市、大垣書店、京都新聞ほか協力）、学生番組「ユースカウンスル京都の ECO 活！」（京都市ユースサービス協会協力）、アニメ『ガラスの地球を救え！』上映会（京エコロジーセンター協力）

●公益財団法人京都産業 21 コロナウイルス対策企業等緊急支援事業

「京都元気らじお」「海の京都☆情報ボックス」「ええ京都 耳より情報」

【7】ミキサー育成

- ・学生アルバイト・ボランティア ミキサー指導

【8】対外活動

- ・龍谷大学、立命館大学 授業参画

【9】番組審議会

- ・第 143 回～第 147 回……計 5 回開催

【10】その他

- ・毎月 3 日に正会員入会、または番組申し込みの方に、15 分番組放送券プレゼント「京都三条ラジオカフェの日」継続。
- ・地域インフォメーションパートナーシップ継続。現在 5 団体参加

＜第 1 号議案＞2021 年度決算報告

※別紙資料：決算書（活動計算書、貸借対照表、財産目録）、会計監査報告書
【経常収支の部】

収入

経常収入	: 21,246,726 円
事業収入	: 18,727,923 円
会費収入	: 1,441,000 円
寄付金収入	: 80,895 円

支出

経常支出	: 20,830,454 円
事業費	: 18,611,942 円
人件費	: 10,856,237 円
賃借料	: 3,182,400 円
管理費	: 2,218,512 円
減価償却費	: 522,367 円

当期収支差額

: 416,272 円

【資産の部】

合計資産	: 11,203,186 円
現金預金	: 5,899,096 円
その他流動資産	: 2,569,110 円
有形固定資産	: 1,100,160 円
無形固定資産・他資産	: 1,634,820 円

【負債の部】

合計負債額	: 19,120,856 円
流動負債	: 1,620,856 円
固定負債	: 17,500,000 円

(長期借入金(NPO 債)発行総額 14,500,000 円 (2021 年度 1 口返済))

(日本政策金融公庫融資額 3,000,000 円)

【正味財産の部】

正味財産の部合計: △7,917,670 円

【監査報告】

※別紙「会計監査報告書」の通り

＜第 2 号議案＞2022 年度事業計画および予算

【現状・課題】

① 番組の増減

番組数は前年度と同じ 94 本。事業収入は 18,728,678 円（前年度 18,300,594 円）と、428,084 円増収した。

② 正会員の増減

人数は前年度と同じ 120 人。しかし 2021 年度をもって退会との申し出が 4 人あった。会員に関わる事務業務に関して、資料送付の電子化を進めることができた。引き続き会員と事務局双方の手続き効率化のため、会費の引き落としが要検討事項である。

③ 機材更新

ストリーミング放送：リスンラジオ用の PC を購入した。その後もノイズ混じりや停止が続いた為中継器を取り換え、ストリーミングの安定性をはかった。

ラジオ放送・収録：PC を 1 台購入・1 台を OS アップデートしたが残り 3 台のアップデートが終わっていない。動画は録画が止まる不具合が発生しソフトを変更することで解決したが、動画発信の需要が高まっているためサービスを向上させる必要がある。また DAD の不具合による放送トラブルが数件起こったため、更新ソフトをリースで購入し放送事故防止に努める。オンライン収録に関しては 2020 年に引き続き zoom 収録を行い、活用する番組が増加した。現在 1 台のタブレットを使いまわして収録しているが、収録環境を整えるために 1 台ディスプレイの整備・増強が必要である。

④ 人材確保

学生のみキサーアルバイト・ボランティアを新たに 4 人雇用した。放送局の発展に向け、現職員の週 5 日制復活や職員増員が必要である。

【中長期の目標】

- ・番組数の増加・事業収入の増加
- ・リスナー数の増加 →若年層へのリーチ、SNS の活用、クラウドファンディングの活用
- ・ラジオの教育的活用 →職業体験と見学の受け入れ、学生番組の支援
- ・正会員数の増加
- ・常勤職員の待遇改善
- ・機材の更新
- ・事務業務の効率化 →書類送付の電子化、オンラインツールの活用、電子決済の活用

【今年度の目標】

- ・Cool Choice 事業 →実施と報告を遂行する(1, 2月)
- ・放送の安定性を図る →DAD ソフトを更新する、以降の機材更新のための積み立てを開始する(3月～)
- ・正職員・ミキサーの募集・育成 →ミキサーの研修マニュアルを作成する
- ・番組の増加、広報 →SNS 広告を活用する、動画機能を拡充させる
- ・ビジョン成文化 →20周年で打ち出せるように、ビジョン検討小委員会等を開催して成文化を目指す(3月～)
- ・週4日体制から週5日勤務(月～金曜)を再開して、正会員・番組オーナーへのサービス向上に努める。また常勤職員の待遇改善を図る(4月～)
- ・正会員費の引落を開始する(10月～)

【事業予算案】

1. 概 要

2022年度の事業計画に基づく活動を行う

2. 事業予算書

※別紙予算書あり

■ 人件費

常勤職員3人／非常勤職員2人／アルバイト4人(学生含む)

■ 固定資産及び減価償却費

固定資産増加： 放送設備機材更新

■ 長期借入金

- ・NPO債（発行限度額2,200万円/第6期2008年）
発行残高1,400万円以内とする。
- ・日本政策金融公庫（新型コロナウイルス感染症特別貸付）
300万円3年間据え置き、3年間利子補給あり。（返済開始は令和5年8月）